

たいし 議会だより

第141号

発行/太子町議会 編集/議会広報委員会

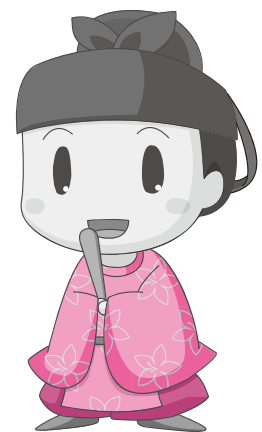
平成24年12月定例会で決まったこと	p 1 ~ p 3
5 議員が町政を問う (一般質問)	p 4 ~ p 6
議会のうごき	p 7 ~ p 8

12月定例会 主にこんなことを決めました

12月定例会は、12月5日から、12月19日までの15日間にわたり開会されました。

今定例会では、平成24年度一般会計補正予算をはじめ条例改正などが審議され、全ての議案を可決しました。

また、一般質問には、5人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。



一般会計

● 一般会計補正

補正額
1207万4千円
補正後の総額
45億5555万6千円

【内容】

- ・ グランドゴルフ場整備に係る測量、実施設計
： 286万5千円
- ・ 富田林市への常備消防委託料
： 807万2千円
- ・ 老人医療費、一部負担金助成の増
： 113万7千円

質疑

問 グランドゴルフ場整備の内容は。

答 今年度は用地測量、設計等を実施し、平成25年度に工事を行い、25年度中に使用開始で

きるよう考えている。
グランドゴルフのみ
でなく、他の目的でも
使えるようにしていく。
財源は、地域福祉・子
育て支援交付金の介護
保険特別枠で、3年間
で、一事業あたり上限
350万円交付される。



町有地を活用してグランドゴルフ場に

(公簿面積114400㎡)

条例制定・
改定など

●富田林市、河内長
野市、大阪狭山市、
太子町、河南町及び
千早赤阪村における

障害者支給判定審査
会の共同設置に関す
る協議について

●河南町、太子町及
び千早赤阪村障害者
給付認定審査会の廃
止に関する協議につ
いて

●河南町、太子町及
び千早赤阪村介護認
定審査会の委員の定
数等を定める条例制
定について

●富田林市、河内長
野市、大阪狭山市、
太子町、河南町及び
千早赤阪村障害者支
給判定審査会の委員
の定数等を定める条
例制定について

●特別職の職員で非
常勤のもの報酬及
び費用弁償に関する
条例中改正の件につ
いて

(5件、一括審議)

【提案理由】平成25年
4月1日から、より一
層効率的な事務処理を
図るため、富田林市、

河内長野市、大阪狭山
市、河南町、太子町、
千早赤阪村による『南
河内広域連携研究会』
において、既存事務の
共同処理を行うことと
なったため。

質
疑

問 委員数は3町村で
行っていた時と同じ配
分となるのか。

答 医師会と協議中で
あり、3町村について
は白紙の状態であるが、
3町村とも富田林医師
会管内であるので支障
は無い。

●太子町立総合ス
ポーツ公園設置条例
中改正の件について

【提案理由】『南河内広
域連携研究会』におい
て各市町村のスポーツ
施設の利用料金につい
て、住民と他の市町村
民との料金格差をなく
し、相互利用を促進す

ることについて合意が
なされたため。
(5分野38施設)

質
疑

問 他市町村住民との
料金格差を無くすと言
うが、料金の変更はあ
るのか。

答 他市町村住民は、
本町住民の2倍となっ
ていたが、それを本町
住民と同じにするため、
倍額規定を削除した。



総合スポーツ公園

●太子町議会会議規
則中改正の件

●太子町議会委員会
条例中改正の件

●太子町議会議政務調
査費の交付に関する
条例中改正の件

●太子町議会議政務調
査費の交付に関する
規則中改正の件

(4件、一括審議)

【内容】国において地
方公共団体の議会及び
長による適切な権限の
行使を確保するととも
に、住民自治の更なる
充実をはかるために
『地方自治法の一部を
改正する法律』が可決
されたことに伴う、条
例や規則の改正。

【国における「地方議
会制度」に係る改正事
項】

①地方議会の会期
・条例により、定例会・
臨時会の区分を設け
ず、通年の会期とす
ることができる。

・議長等の臨時会の招
集請求に対して長が
招集しないときは、
議長が臨時会を招集
することができるこ
ととする。

③議会運営
・委員会に関する規定
を簡素化し、委員の
選任方法、在任期間
等について法律で定
めていた事項を条例
に委任する。

・本会議においても、
公聴会の開催、参考
人の招致をすること
ができることとする。

④議会の調査権
・議会が調査を行なう
ため選挙人その他の
関係人の出頭、証言
及び記録の提出を請
求することができる
場合を、特に必要が
あると認めるときに
限ることとする。

⑤政務調査費
・政務調査費の名称を
「政務活動費」に、交
付目的を「議員の調
査研究その他の活動
に資するため」に改
め、政務活動費を充
てることができる経
費の範囲を条例で定

②臨時会の招集権

めることとする。
・議長は、政務活動費
については、その使
途の透明性の確保に
努めることとする。

※他「議会と長の関
係」「専決処分」「条例
交付」「直接請求権」「国
等による意見確認訴訟
制度の創設」「一部事
務組合・広域連合等」
についての改正が国
において、行なわれま
した。

用語解説
「政務活動費」
って？
議員の調査研究活
動に対する費用で、
太子町議会では、会
派毎に一人当たり1
万円（年間12万円）
が交付されており、
必ず収支報告が義務
付けられています。

●太子町・富田林市
消防事務の委託に関
する規約の変更に関
する協議について

【提案理由】大阪府よ
り平成25年3月1日か
ら太子町が権限移譲を
受けて、火薬類、高压
ガス及び液化ガスに係
る事務を富田林市に委
託することとしたため。

質疑

問 保安3法の町に対
する権限移譲のメリッ
トはなにか。

答 今まで大阪府が立
入検査等を実施してい
たが、今回の権限移譲
により、以前から消防
本部で実施している危
険物の検査と同様、住
民に密着した地域の状
況を考慮した設置指導
等ができ、計画的に立
入検査を実施できる。
また、把握した情報
を火災予防に活用でき、
万一火災が発生した場
合にも消火活動や住民
の避難誘導等に活用で
きる。

●町道路線の認定及
び廃止の件

質疑

問 大阪府から移管さ
れるメリットはあるの
か。

全会一致で選任に同

答 府からの移管によ
り、町と警察の協議が
直接出来るようになって
ため、安全対策を一
緒に検討していきたい。

●教育委員会委員の
任命について同意を
求める件



加藤 憲治氏

意しました。
勝良氏は、教育委員
会で互選の結果、教育
長に就任されました。

●一般会計補正予算
の専決処分の件

【内容】衆議院解散に
伴う総選挙及び最高裁
判所裁判官国民審査に
かかる経費
：890万8千円

平成24年第4回定例会議決結果一覧表

件名	結果
補正予算	
・一般会計	可決
条例制定	
・河南町、太子町及び千早赤阪村介護認定審査会の委員の定数等を定める条例制定について	可決
・富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町及び千早赤阪村障害者支給判定審査会の委員の定数等を定める条例制定について	可決
条例改正	
・特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例中改正の件	可決
・太子町立総合スポーツ公園設置条例中改正の件	可決
・太子町議会会議規則中改正の件	可決
・太子町議会委員会条例中改正の件	可決
・太子町議会政務調査費の交付に関する条例中改正の件	可決
その他	
・町道路線の認定及び廃止の件	可決
・富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町及び千早赤阪村における障害者支給判定審査会の共同設置に関する協議について	可決
・太子町・富田林市消防事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可決
・河南町、太子町及び千早赤阪村障害者給付認定審査会の廃止に関する協議について	可決
・太子町教育委員会委員の任命について同意を求める件	同意
・太子町議会政務調査費の交付に関する規則中改正の件	可決
・平成24年度太子町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の件	承認

12月定例会の一般質問

町政を問う

5人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

省エネ環境対策について…………… P 4

次世代を育む環境づくり「子ども子育て支援
関連3法」の取り組みについて…………… P 4

農業を活かしたまちづくりを…………… P 5

自然エネルギーの活用を…………… P 5

外出支援の具体化を…………… P 5

「授業アンケート」の撤回を…………… P 5

学校施設にもエアコンの設置を…………… P 5

防災対策について…………… P 6

交通弱者の対策について…………… P 6

省エネ環境対策について

羽山 茂男 議員

問 本町の、省エネ対策として公共施設へのLED照明の導入は積極的に検討すべき課題といえる。リース方式による公共施設へのLED照明の導入については。また、新府道美原太子線の防犯灯設置の進捗状況は。

後の電力消費量も抑えられ、節電とコストダウンを同時に実現することが期待できる。省エネ環境対策について、更に調査をし公共施設へのLED照明の導入を要望する。



Q 次世代を育む環境づくり「子ども子育て支援関連3法」の取り組みについて

答 新たな制度による子ども・子育て支援事業計画の策定のもと、安心して子育てが出来る環境づくりや町内の連携体制についても検討していく。町長のマニフェストで妊婦、出産から子育て支援の情報をもとめた子育てガイドブックの作成を進めると公約しており、平成25年度には子どもの発達段階に合わせた利用しやすいガイドブックの作成をし、子育ての一助にしていく。

援を推進することである。太子町のこの新制度への取り組みはどうなっているのか問う。

答 リース方式を導入すること等で得られる大きなメリットは、本町にとつても大きな魅力と考える。異なる照明器具の統一化等の課題があることから、全庁的に各施設等における既設照明の現況や、今後の維持管理費の見込み等調査を行い、検討して参りたい。また、今年度中には太子町南交差点付近までの間にLED防犯灯を4灯新設する予定である。

要望 東日本大震災をきっかけとした電力事情等から、リース導入

問 国の社会保障と税の一体改革の一番重要なポイントは「子ども子育て3法」である。3党合意を踏まえ、幼児期の学校教育・保育・地域の子ども子育て支

要望 今後、市町村では子ども・子育て支援事業計画を作る必要がある。どうか未来の太子町を担う子ども達のためにも施策実現を要望する。

農業を活かした
まちづくりを

阪口 寛 議員

外出支援の具体化を

西田いく子 議員

問 日本の農業は、歴代政権の間違った施策で危機に陥っているが、太子町でも高齢化や後継者不足、遊休農地化が問題になっている。

答 本町の特産品であるブドウ農家の現状とブドウ塾の今後は、青年新規就農給付事業、イノシシ被害対策の充実を。

答 遊休化するブドウ園は援農隊や新規就農で4鉢を防止している。NPO法人化の取り組みは、町との共同開催で行うブドウ塾、新たなボランティアの育成、新規就農者の開拓などである。イノシシ被害対策は柵の資材支給の助成、捕獲をやっている。劣化する電気柵の更新は今後検討する。

問 ブドウ農家は、努力をしているがブドウ価格は25年以上も変わらず、経営を困難にしている。町の農産物の

ブランド化や加工販売の独自産業化の促進等、農業振興施策はあるのか。観光事業との連携、TPPへの対応は。

答 府、羽曳野市、関係事業者と一緒に都市住民と協働で地域の活性化を目的に竹内街道ワインクラブやみかんクラブを実施。都市住民が出かけたくなる町になるよう農業、観光の両面からの視点で農業振興を図りたい。

TPPは、全国町村長大会で地域経済の社会崩壊を招くとして参加しないと決議している。今後は注視したい。

Q 自然エネルギーの活用を

問 原発事故は、一度放射性物質が大量に放出されると、被害が空間的、時間的、社会的にも限定なしに広がる。二度と事故を起こすこ

とは絶対許せない。自然エネルギー等による発電は大きな可能性があり、地域経済への波及効果も大きく、エネルギーの地産地消、地域や自然環境の実情にあった小型の発電装置の開発、製造、維持管理は、中小企業への仕事を増やし、雇用も原発よりはるかに大きい。自治体による資源調査とエネルギー自給計画の立案・推進、住民への補助制度の創設・拡充を。

答 山田小学校体育館改築の際、太陽光発電の設置の可否は検討し、その他の施設は、今後のエネルギー政策の見直しの中に位置づけ、調査研究を継続したい。

問 町単独の補助制度は府内市町村の動向を注視したい。

答 町単独の補助制度は府内市町村の動向を注視したい。

問 外出支援についてどのように調査研究を進めているのか。

答 ワーキングチームの第1回会議は、外出支援を多面的な立場から考察する意図を持ち、様々な部署から7名を選出。内容は、高齢介護グループから高齢者を取り巻く環境についての説明があり、外出支援の必要性を確認。現段階では事業の対象者を高齢者をベースとして検討中。

問 住民の方の意見を聞く場を考えているのか。実施に向けたタイムスケジュールは。

答 住民の意見を反映するのは重要だと認識。チームのメンバーが、日常業務等の中で住民の声を聞き、外出支援策の提言に反映し、一定の方針が定まった段階で住民の皆さんの声

を聞いていくのかを検討したい。タイムスケジュールは、はつきりと言えないような状況ではないが、将来的にも持続可能な外出支援について提言が出来るよう取り組んでいきたいと考える。

要望 福祉タクシーへの助成、福祉センターバスの活用、タクシース社と委託契約、叡福寺のバスへのお願い、地域の助け合いへの助成等、住民の皆さんから知恵を集め「どこに行きたいか」を知るためにも住民参加の具体化を求める。

Q 「授業アンケート」の撤回を

問 本来の目的も知らず完全記名のアンケートでの個人情報収集は、目的外使用、個人情報保護条例違反では。文科省ですら人事評価

に反映するアンケートは聞いたことがないと言う。子どもや保護者を利用して教員や学校を序列化し、競争のうず巻き込み、教育の自主性を奪い、画一的な授業、主張や教育委員会言いなりの教員づくりを狙うもの。撤回を。

答 目的外には当たらないと考える。撤回は、考えていない。

Q 学校施設にもエアコンの設置を

問 エアコンの設置を。

答 25年度末、耐震化率100%を目標に義務教育施設の耐震化を最優先に進めており、普通教室へのエアコン設置については今後の検討課題と考える。

防犯対策について

寺町 幸雄 議員

問 街頭犯罪が多発する時期になったが、大阪府は全国的にも、特にひったくりや、痴漢などの犯罪が多い地域と認識している。そこでお尋ねする。

①近年の大阪府内の街頭犯罪の状況は。犯罪件数の推移。

②広域的な取り組みの現状。

③犯罪の事件解決の糸口として「防犯カメラ」が効果的である事例が多くあり、太子町として、防犯対策の手法としての検討は！

④叡福寺周辺の美原太子線、道路交通網の整備等、住宅開発に伴う環境の変化により、犯罪も増加する要素がある。私も大阪府警の「安まちメール」を登録しており、携帯電話に事件情報が入る。町内の事案も数件確認。この状況の中、太子町の今後の防犯対策は。

答 ①府内の街頭犯罪の状況は、平成22年、7万9864件、平成23年、6万9771件。

②広域的な取り組みは、各種の防犯啓発活動を行う。

③防犯カメラの設置には、個人情報、施設管理、財源確保の問題があり、今後の設置は大阪府の動向等を注視し検討したい。

④防犯対策は、防犯委員会、地域青色防犯パトロール隊、子ども安全見守り隊をはじめ、青少年指導委員会や交通事故をなくす運動推進協議会等との情報の共有化、地域安全センターを中心とした、警察、教育委員会、学校、行政等が連携、ネットワークの強化を対策の要とし「安心、安全の町づくり」に取組む。

要望 我が町太子町は地域や学校が各自積極的に防犯対策の取り組み

を行われており、このような対策は単独ではなかなか効果が期待できない。太子町の独自の考えをもって対応し防犯カメラの設置等、周辺住民が安心して生活する新しい対策を検討し「地域安全センター」の取り組み等をより多くの住民の方に情報発信し、各方面の多くの方々との情報交換も出来る取り組みを。更に犯罪の防止、抑止を太子町の特徴生かした「安心、安全の町」の実現のために、調査、工夫をし、更なる尽力を要望する。



道の駅設置の防犯カメラ

交通弱者の対策について

田中 祐一 議員

問 太子町の住環境については、比較的住みやすい町であるとは思いますが、近年食料等の日用品必需品が買える店舗が減少し、より遠くの店に行かなくてはならなくなっている。

加えて、太子町においても高齢化が進んでおり、障害者、年少者を含め、いわゆる交通弱者が年々増加することが予想される。太子町の行政としても、そういった方々の支援を真剣に考えなければならぬ状況になってきており、交通弱者の増加に対する町としての基本的な考えは？

様々な方策を行政と住民の皆さんとの協働で実現していきたい。

問 NPO又各種ボランティアの団体と提携し、不特定多数ではなく、まずは手を挙げてもらった方の支援からスタートするのにも一つの方法だというふうに思っているのですが、そういったことも検討するよう要望する。

次に、買い物、病院の通院等、太子町においては自動車なしに生活が出来ないような状況になってきているにも関わらず、高齢化が進み、普通車を運転出来ない世帯が確実に増えてくる。そういった中、国では来年の1月に超小型車の認定制度を導入することを発表しました。この超小型車は1人から2人乗り程度で、環境にも優しい乗り物で、高齢者や子育て世代等の身近な交通

手段としての役割が期待されているが、超小型車に対する本町の対応は？

答 国は、地方自治体が区域等を設定し、申請すれば、試行的に導入を認める方針を打ち出した。高齢者の移動支援だけではなく、近距離圏の日常的な交通手段として、また道が狭い観光地をめぐる足として、有効な利用が出来ることから、実証実験がなされており、これらの課題等を踏まえて、各自自治体の動向を注視すると共に、交通弱者、高齢者等の移動支援について引き続き検討していきたい。

答 特に高齢者の移動手段については、現在職員による外出支援ワーキングチームを設置し、目下、検討を進めている。そして太子町に即した身の丈に合った持続可能な交通弱者への取り組みについて、

議会のうごき



害に備えて」をテーマに、多数の市町村長、市町村議会議長を受講者として講演がおこなわれました。

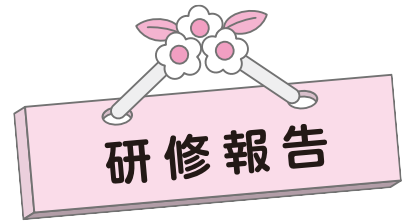
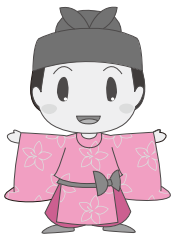
東日本震災では、被災自治体の職員に多くの犠牲者が出たことにより、自治体機能が喪失するという状態になりました。

他道府県の被災していない自治体から多くの支援がおこなわれましたが、情報が錯綜したことにより復興が思うように進みませんでした。

今後必ず起こると言われている巨大地震の災害を少しでも減災できるよう、過去の災害に学び、災害が発生する前から事前復興計画を立て、行政と住民の地域力をあわせて対策していくことが大事であると改めて感じることができました。

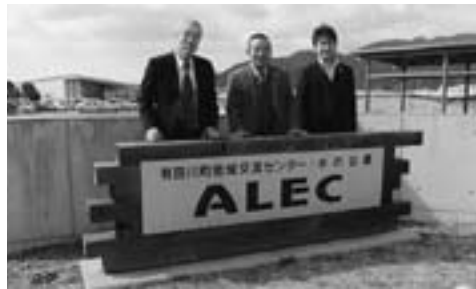
去る二月八日(金)シテイプラザ大阪において大阪府市町村振興協会主催の「市町村トップセミナー」に議長が参加しました。

講師は、関西学院大学教授・災害復興制度研究所主任研究員の山中茂樹氏で、「東日本大震災と対口支援」高めよう受援力、巨大災



研修報告

新風クラブ 太政クラブ



新風クラブ・太政クラブ合同で2月13日、日帰りで、和歌山県有田川町にて研修・視察を行いました。

有田川町は、鵜飼で有名な有田川の清流があり、2006年1月1日、清水町、金屋町、吉備町の3町が合併し

た町です。(2012年12月1日現在、2万6705人)

今回は、2009年4月26日に開設した『有田川町地域交流センター・水の公園』(ALEC)等を教育委員会文化情報班、青石主任の案内で視察を行いました。

このセンターの建設に先立ち、発掘調査を実施したところ弥生時代、鎌倉時代の集落跡と判明し、古代と現代が交差、文化と文化、人と人が交流する場として、ALECが誕生しました。これらを活かした展示、図書館、軽食喫茶コーナー、パソコンの貸し出し、サ



無料で貸し出しをしています



喫茶コーナー

イクル自転車(無料)と、イベントステージ、オープンテラスがあり、現在毎月約1万人の利用があります。「ALECで何を感じ何をみつけるか」「ここでの感動や交流が次の時代を造る原動力に」と願い交流場として、活気あるまちづくりに励んでおられます。

また、廃線になった有田電鉄の跡地を遊歩道に活用、さらに子育て支援対策等を一つの場所として活用し、建物内外が一体となって利用されています。

我が町、太子町で同じ施設はできませんが、これからの施設造りは、導線がとなり、来訪していただき、継続的に利用頻度が多くなる企画・立案し、多

くの皆様方に活用していただくようにと願っています。

また、山を見ると風力発電がしっかりと働いているのを視察しました。

太子町では、今あるものをしっかりと活用し、道の駅から竹内街道、資料館、山本邸、孝徳御陵と導線をつなげる、例えば大道の古民家等を活用し「昔の茶店的なものができたら、人の流れが生まれるのでは・・・」と思います。

今回の研修で学んだことを今年の竹内街道敷設1400年活性化に生かせれば、それをまた、次の1500年につなぐことができると、考えながら帰路につきました。



集落跡地が発掘されました

政友クラブ ふたかみ会

2月13日、14日、武蔵坊弁慶の生誕地、紀州田辺市及び周辺の視察研修をしました。

野見山元県議の案内で庁舎へ。前は海、後ろは山間地、もし津波が来たらとの思いが頭をよぎりました。応対は松川企画広報課長。



田辺市庁舎にて

平成17年5月に5市町村が合併し、その経緯と新市の状況説明がありました。「①面積1026km²(太子町の72・5倍) ②人口7万9119人(太子町の5・5倍) ③職員数993人から882人に減少④5箇所の観光協会が1箇所に⑤財政面は、社会経済情勢の

次に秋津野ガルテンへ。本町の以前の中学校を彷彿させる木造の



田辺梅林石神の郷

次に市街地から山間地へ。まもなく急傾斜を切り開いた一目30万本と謳われる梅林畑に到着しました。ここが田辺梅林石神の郷。梅は5分咲きでした。

翌日串本から大島へ。近大が誇るクロマグロの養殖場を視察しました。研究所では、昭和45年来、苦難の連続で完全養殖には成功したもの、孵化して40日までの生存率は千分の一。これを10倍にしないと採算ベースに乗らないと言います。10ヶ以上の生簀が点在



秋津野ガルテン内

建物です。田辺市が町おこしとして推進する都市と農村の交流施設グリーンツーリズム。平成18年、旧上秋津小学校が新築移転され、跡地に宿泊施設や農家レストランを開設、みかんジュース作り、クッキーの手作り体験。又みかんの木オーナー制度もあります。

次に、トルコ記念館へ。明治23年、トルコの使節が、串本町檜野埼灯台下の岩礁で難破。650余名の乗員のうち580余名が殉職。檜野の住民が献身的に救助した事から交流が始まりました。時は流れ、昭和59年、イ



近大のクロマグロ養殖場

しており、直径30m、深さ10mの生簀に50kg級のクロマグロ500匹が泳いでいます。ここで餌やり体験。はるか房総沖で獲れた20cm位の胡麻サバ5〜6匹を投げ入れましたが、食欲旺盛、瞬時に飲み込む光景は圧巻です。又、別の生簀では、200kg級が悠々と泳いでいます。これも見応えがありました。



ラン・イラク戦争が勃発。フセイン大統領が(今から、40時間後にイラクの上空を飛ぶ飛行機は全て撃ち落とす)と世界に発信。残留日本人は200名以上。日本以外は、救援機を出しましたが、日本の対応は遅く、苛立つ日本人を救援したのがトルコ機でした。まさに明治の恩返しです。

議員の香典・弔電を自粛、廃止しています

太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様の弔事に際しまして議員個人の香典等の自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第1回定例会が3月に開催されます。ぜひ、傍聴にお越しください。

日程については、ホームページ、広報無線でお知らせします。